

特別講義「音楽って、何すか？」

1. 日 時： 2023年11月27日(月)13:30～16:45 3限・4限
2. 場 所： F号館510教室
3. 対象学生(必修)： コミュニケーション専攻生 聴講： 学内のみ可
4. 講師紹介： 宮川彬良 氏

作曲家／1961年東京都出身

劇団四季、東京ディズニーランドなどのショーの音楽で作曲家デビュー。その後、数多くのミュージカル・舞台音楽を手掛ける。代表作に「ONE MAN'S DREAM」「身毒丸」「シャンプーの森で眠る」「ミラクル」「ハムレット」「マクベス」「家なき子」「血の起源」「星の王子さま」「ルビチ」「ザ・ヒットパレード」「ムサン」「欲望という名の電車」「ナイン・ティールズ」「DOROTHY～オズの魔法使い～」など。1996年「身毒丸」で第4回読売演劇大賞・優秀スタッフ賞受賞、2000年「ミラクル」で東京芸術劇場ミュージカル月間優秀賞受賞。2005年「ハムレット」(再演)で第12回読売演劇大賞・優秀スタッフ賞受賞。2021年祝祭音楽劇「天保十二年のシェイクスピア」で第28回読売演劇大賞・優秀スタッフ賞受賞。また、2004年には松平健のショーのために作曲した「マツケンサンバII」が大ブレイク、舞台音楽からヒット曲を送り出した。

一方、『コンサートはショーである』を信条にさまざまなコンサートを企画し、平原まこと氏とのデュオ「アキラさんとまこと君 ふたりのオーケストラ」(2006～2021年)「未来の音楽授業！アキラ塾」「アキラさん's アカデミー」自作の舞台音楽を演奏する「宮川彬良 心deバレエ」「宮川彬良×米良美一ふたりの歌謡ショウ」「0歳からのパントマイム・オーケストラ」など多彩なスタイルを披露、作曲、編曲、指揮、ピアノ演奏、解説すべてが自身によるそのコンサートは幅広い層に親しまれている。演奏会でよく演奏される「風のオリヴァストロ」は、TV番組「AQUOS美術館『かくて名画は生まれた』」のテーマ曲として作曲し、のちに歌詞がつけられ代表作のひとつとなった。また、「シンフォニック・マンボNo.5」はベートーヴェンの交響曲第5番「運命」とペレス・ブラードの「マンボNo.5」をミックスした究極のアレンジ作品で、海外でも人気がある。

1995～2010年 大阪フィル・ポップス・コンサートの音楽監督・常任指揮者、1998年～宮川彬良 & アンサンブル・ベガの音楽監督、2014年～Osaka Shion Wind Orchestraの音楽監督、せたがや文化財団スペシャルプロデューサー。

2003～2010年NHK Eテレ「クイントット」、2009～2010年NHK BS2「どれみふあワンダーランド」、2011～2012年NHK BSプレミアム「宮川彬良のショータイム」の音楽担当、並びに出演。2012～2018年文化放送「玉川美沙ハピリー」内「ハピリーくらしっく」レギュラー出演。2001年アニメ「星のカービィ」、2012年「宇宙戦艦ヤマト2199」、2017年「宇宙戦艦ヤマト2202」の音楽担当。2013年歌劇「あしたの瞳」、2015年歌劇「ブラックジャック」を発表。2016年NHK木曜時代劇「ちかえもん」、2017年NHK連続テレビ小説「ひよっこ」、2022年NHK特集ドラマ「アイドル」の音楽担当、「第68回紅白歌合戦」のオープニングテーマ、2020/21年全日本吹奏楽コンクール課題曲「僕らのインベンション」作曲など、その活躍の場は多岐にわたる。

2022年 エッセイ集「アキラさんは音楽を楽しむ天才」(NHK出版)を上梓。

5. 講義概要：

事前に学生から質問を募り、

どんな質問に対しても音楽的なアプローチで宮川彬良が答えを導き出していく。